

## GlobalvoiceEnglish 導入事例

HOYA SERVICE CORPORATION

HOYAサービス株式会社

音声ソリューション事業部

### 学生への提示用音声刺激の作成に抜群の効果：教育用・研究用に極めて有益です

関西学院大学法学部  
関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科  
教授 門田修平 様



GlobalvoiceEnglish3

GVE3 (GlobalvoiceEnglish3) は、これまでのバージョンから操作画面が改訂されました。それだけでなく、英語の合成音話者として、これまでの Kate (女性)、Paul (男性) に加えて、Julie (女性) が追加されました。また、イギリス英語 Bridget (女性) の合成音話者も、オプションで搭載されました。

この GVE3 は、教育用にも、また研究用にも極めて有用です。

教育用には、リスニングやシャドーイングの音声素材作りに活用しています。通常のスピードやポーズを持った合成音を学習者に提示することもあります。その熟達度に応じて、発話スピードを遅くしたり、文、節、句などのチャンク間のポーズを増大したりした合成音を作成して、提示することができます。実践的な研究においても、このような操作が学習者のシャドーイング、ディクテーションなどの成績向上にいかに関与するかといった観点からのデータ収集ができます。次の英文は、門田・玉井 (2004 : 67) 所収のテキストの冒頭の部分ですが、標準の合成音をもとに、スピードを遅くし、ポーズを増大させた合成音を簡単に作成し、授業において活用しました。

I like Japan a lot. The people are very friendly, and the culture and language are both interesting.

以上の操作で、I like Japan a lot.の部分の発音時間は、1520 msec.から 1780 msec.へと長くなり、また次の The people との間ポーズも、1100 msec.から 1290 msec.に増大しています。

次に研究用には、筆者の関係する大学院生の報告ですが、単語レベルの聴覚プライミング (一度聞いて処理した単語を再度音声提示されると、その処理が促進される現象) の研究において、日本人英語学習者を対象に、音声刺激が男性→男性、女性→女性と同一の場合と、男性→女性、女性→男性と異なる場合で、プライミング効果がいかに影響されるかといった研究に使われています (松田, 2013)。この研究はさらに、音声提示する単語の高低やそのピッチ幅を変化させることでどのような影響が聴覚プライミングに与えるかという観点からさらに検証することもできますと思います。

また、次のような 2 つの意味を持つ曖昧文の音声言語処理に、ピッチや強さ、長さを変えることがいかに影響するかについても精密に要因をコントロールした実験が可能です。

e.g. The hostess greeted the guest with a smile.

「にこやかに客に挨拶した」、「にこやかに笑っている客に挨拶した」)

e.g. Julie didn't marry Paul because she loved him very much.

「愛していたから結婚したわけではない」、「愛していたから結婚しなかった」)

以上のような言語処理実験では、SP4Win（音声工房）や praat などで合成音を読み込んで微調整をするなど、音声分析ソフトと連動させて活用すると、さらに効果的に実験用素材が作成できると思います。

[2013.06.07]

**文献：**

門田修平・玉井健（2004）

「決定版 英語シャドーイング」 東京：コスモピア

松田紀子（2013）

「復唱からみた日本人英語学習者の L2 音声言語処理—聴覚性プライミング効果と刺激特異性—」

JACET リーディング研究会 2013 年 2 月例会研究発表 大阪：関西学院大



関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

[http://www.kwansei.ac.jp/g\\_language/](http://www.kwansei.ac.jp/g_language/)

